

<受験2年前、受験3年前の塾生の皆様もお読みください>

入試直前・入試直後の「効果の上がる学習方法」を考える

開倫塾
塾長 林明夫

1. <はじめに>

いよいよ、入試本番、直前となりました。開倫塾の最大の特長の1つは、「効果の上がる学習方法」をお伝えすることですので、入試直前・入試直後の「効果の上がる学習方法」を、まとめてお伝えいたします。

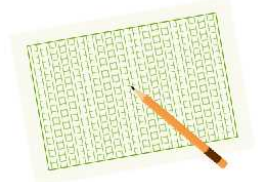


- (1) 何があっても驚かない。平常心を保つ。人生、入試直前であろうがなかろうが、様々なことが起こるのが、世の常です。そこで、何があっても驚かないこと。事実を事実として受け入れる。ではどうしたらよいかを冷静に、できることを考えることが大事です。
- (2) 風邪をひいて熱が出る、交通事故に遭遇、転んで足を骨折など思いもよらないことが入試直前に起こることもあります。そのようなときには、決してあわてず、身動きをしないで、ではどうしたらよいか考える。これも試練、人生勉強と考え、冷静に行動しましょう。
- (3) 風邪をひいて熱が出たら、家に帰り、手洗い・うがい・着替えをし、風邪薬を服用し、布団の中で、横になり目をつむり睡眠をとることが一番。必要なら、医師の診察も受ける。コロナに感染したようなら、検査をし、病院に相談。我慢ができないようなら、救急車の出動を要請しましょう。がんばってくださいね。



2. <受験直前の効果の上がる学習方法>

- (1) 過去問や模擬試験で一度間違えた各教科の問題を、「ノート」に全部やりなおす。
- (2) 一度やり終えた「参考書」「まとめ教材」を、「音読練習」し、全部覚える。
- (3) 「授業ノート」「まとめノート」を、「音読練習」し、全部覚える。
- (4) 「不得意分野」は、よくわからないところまでさかのぼり、「教科書」「学校問題集」「やさしめの参考書」「学習漫画教材」で、「ゼロから勉強しなおす」。
- (5) 新聞を毎日読む。1面の「コラム」や「社説」を「原稿用紙に書き写す」。入試に必要な「表現力」が鍛えられます。
- (6) 勉強の合間に、読みかけの本があったら最後まで読み、「気分転換」。(読解力が身に着きます)。
- (7) 受験勉強をしていて、「意味がわからないことば」があったら「気持ちが悪い」と考え、「必ず」、「辞書を用いて調べる」。調べた内容は、「意味調べノートに書き写す」。その場で、その意味を覚える。書き取り練習もして、書けるようにする。「ことばは力」「語彙数(知っていることばの数)は力」。英語は、発音記号も書き写し、発音練習も必ず行う。入試前日、当日も行う。
- (8) 気分転換に好きな音楽を聴く。好きな楽器を演奏、好きな歌を歌う。軽い体操や、縄跳びをする。姿勢を正し、呼吸を整え、鼻から息を吸い、口からゆっくり吐く。



○ゲームやスマホは、時間を取られ、集中力が奪われるので、受験までしばらくお休みにするのが賢明です。勉強した後、ゲームやスマホを行うと、記憶の痕跡がかき乱され、もったいないと考えます。「ケンカ」をすると、しばらくは勉強が手につかなくなります。心穏やかに過ごしてください。



- (1) 受験直前は、「自分は、受験生だ」と自分自身に言い聞かせ、眠る時間以外は、上記の受験勉強を行う。<「受験生としての自覚」をもつこと>
- (2) 午後から夜10時30分(東京は10時)まで、開倫塾で、受験前日まで、毎日、自学自習。

＜受験生は、学校のある日は1日8時間、学校のない日は1日12時間学習を目指す＞

(3) ＜おしゃべりをしては受験勉強になりませんので、開倫塾の自学自習では、おしゃべりは絶対禁止です。＞

○入試直後は、できたできないで、一喜一憂しないで、次の教科の試験に備えてくださいね。

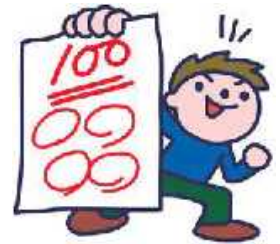
4. ＜入試直後の効果の上がる学習方法＞

- (1) 受験が終わったら、頭がさえわたっていますので、受験のその日から高校の勉強をスタートすると、驚くほど先へ先へと進みます。頭がさえわたっていますから、どんどん勉強がはかどります。合格発表の日も、高校の勉強をし続ける。
- (2) 合否は時の運。合格しても有頂天にならない、不合格でもめげない、落ち込まない。合格した高校に行き、頑張ると決意を新たにします。
- (3) 高校の成績は、高1内容をどれだけ予習したかで決まるので、合格発表後も、合否に関係なく、受験勉強と同じくらいの熱心さで、高校内容の予習をし続ける。
- (4) 高校から、教材や教科書が配付されたら、その瞬間から、高1の全教科の予習をスタート。ゴールデンウィークが終わるころまでに、できるだけ多くの教科の教科書の予習をし終える。



5. ＜すでに合格が決定している場合の効果の上がる学習方法＞

- (1) 受験勉強と同じ熱心さで、高校の全教科の予習をスタート。高校から教材が配付されるまでは、開倫塾の高校教材で高校英語と高校数学の予習をどんどんしてください。
- (2) 開倫塾の高校教材はできるだけ早く、1～2冊修了させる。高校から、教材や教科書が配付されたら、学校が始まるまでに、全教科をできるだけ多く予習。ゴールデンウィークが終わるまでに、1教科でも多くの教科書を予習し終えること。＜どれだけ高1内容を予習したかで、高1の成績が決まるからです＞
- (3) そして、1学期の定期試験で、全教科100点満点を取ること。



6. (1) 大学入試が大幅に変化しました。中学時代と同じように、高校1年生から、全教科の授業をしっかり受け、定期テストで全教科100点を目指し、英検・漢検・数学検定など準2級や2級を取得、部活動や生徒会活動、学校行事やボランティア活動に積極的に参加すると、どこの高校からでも、「指定校推薦」「公募推薦」などで4年制大学に進学が可能になりました。
 - (2) 医学部や、東京大学、東京工業大学、慶應義塾大学、早稲田大学はじめ、難関大学でも、高校の定期試験の成績次第で、指定校推薦で入学できる時代になりました。
 - (3) ですから、高校入試が終わったら、その日から高校内容の予習をしっかり行い、大学を目指しましょう。皆様が進学するすべての高校から、4年制大学への進学が可能になったのです。
7. (1) ただし、大切なのは、高校時代に何を大切に学び、将来に備えるかということです。
 - (2) これから、世界も日本も、また、我々が住む地域も、また、すべての職業も、かつてないほど難しい時代に入ります。
 - (3) 特に日本は、去年の年間の出生数が77万人、十数年後には50万人台という、かつてない超少子高齢化時代、超人手不足の時代に、世界で最初に突入します。
8. (1) ただし、よく考えれば、現在、開倫塾に在籍する塾生の皆様にとっては、これは大チャンスです。これからの勉強次第で、ありとあらゆる分野で大活躍をすることができるからです。
 - (2) 高校、大学で学べば学ぶほど、人生に選択肢が増え、皆様は「多様な選択肢のある人生を歩む」ことができます。「正常に機能する社会の形成に貢献」できます。
 - (3) どのような社会になるか、新聞や本をしっかり読んで学び、また、情報を収集し、自分のキャリア形成に役立てていただきたく希望します。



では、がんばって。